

株式の状況

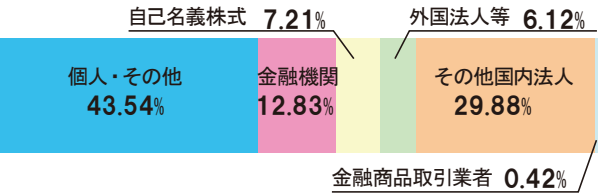
発行可能株式総数	54,767,100 株
発行済株式の総数	19,058,587 株
	(自己株式 1,374,529 株を含む)
株主数	4,236 名

大株主（上位10位）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社ビー・エッチ	1,841	10.41
一般財団法人佐々木環境技術振興財団	1,440	8.14
株式会社ダイニチビル	1,361	7.70
ダイニチ工業従業員持株会	1,128	6.38
株式会社第四銀行	850	4.81
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	585	3.31
吉井 久夫	570	3.23
佐々木文雄	560	3.17
吉井久美子	556	3.15
渥美るみ子	391	2.22

(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式
(1,374,529 株)を除いて計算しております。

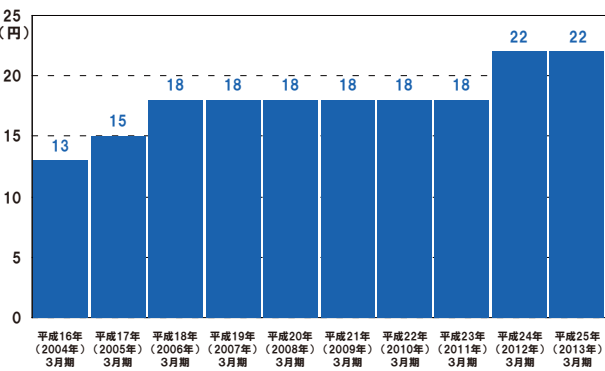
所有者別株式比率



株式メモ

社 名	ダイニチ工業株式会社
証 券 コ ー ド	5951
事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月中
公 告 方 法	当社のホームページ (http://www.dainichi-net.co.jp/)に 掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単 元 株 式 数	100株
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人 及び特別口座 の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
【郵便物送付先】	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
【電話照会先】	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

1株当たりの配当金の推移



DAINICHI

ダイニチ工業株式会社

株主通信

第51期 上半期のご報告

平成25年4月1日～平成25年9月30日



【証券コード：5951】



Top Message トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第 51 期第 2 四半期累計期間（平成 25 年 4 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

昨シーズンは前年より引き続き東日本大震災の復旧需要や節電意識の高まりに伴い石油暖房機器に注目が集まっていたましたが、需要の反動減や灯油価格の上昇、他の暖房機へのシフトなどの影響により石油暖房機器の売上は前期を下回りました。

一方、JX 日鉱日石エネルギー株式会社より生産受託している家庭用燃料電池システムが通年生産に移行したことにより、加湿器を含めた環境機器の売上が拡大いたしました。

これらを踏まえ、第 51 期上半期におきましては石油暖房機器及び加湿器の更なる商品力の向上と積極的な販促活動を展開いたしました。また全社的な経費削減活動を推進するとともに、生産部門においては生産設備の自



代表取締役会長

佐々木 文雄



代表取締役社長

吉井 久夫

動化展開、設備投資を積極的に行い、生産性の向上及び従業員の負担軽減に努めております。

なお、家庭用燃料電池システムは JX 日鉱日石エネルギー株式会社からの発注が一時的に中断したことから売上は減少いたしました。

当第 2 四半期会計期間は、石油暖房機器及び加湿器の販売店への商品導入時期にあたるため売上は大きくありませんが、商談は好調に進んでいることをご報告させていただきます。

平成 25 年 11 月

当第 2 四半期の業績について

ブルーヒーター累計生産台数が 2,500 万台を超えました

当社の主力事業であります石油暖房機器におきましては、1971 年のブルーヒーター生産開始以来、累計生産台数は 2,500 万台を超えました。日本国内の自社工場での生産による迅速な商品供給力と、安心して商品をお使いいただくための品質保証体制がお客様に評価されて業界内で確たる地位を築いております。当第 2 四半期においてもお客様の要望に即した商品開発を行い、9 タイプ 28 機種の商品を発売して冬の需要期に備えております。

また、加湿器におきましては、運転音の静かさ、日本国内生産とそれに伴うアフターサービス体制の点をお客様に評価されて、2003 年に生産を開始してからの累計生産台数は 120 万台を超えました。当第 2 四半期においては 5 タイプ 15 機種を発売し販売店への導入を進めました。

当第 2 四半期累計期間は、石油暖房機器及び加湿器は販売店への商品導入期にあたるため売上は僅少であり、生産受託した家庭用燃料電池システムの生産を中断しているため売上は前年同期実績を下回りました。また、利

通期の見通し

第 51 期におきましては、売上高は 240 億円、営業利益は 19 億円、経常利益 19 億円、当期純利益 12 億円を見込んでおります。業績は原油価格の動向や冬季の気候条件などに影響されますが、石油暖房機器及び加湿器ともに当社製品

業績の推移	当第 2 四半期 累計期間 （平成25年 4 月 1 日から 平成25年 9 月30日まで）	前第 2 四半期 累計期間 （平成24年 4 月 1 日から 平成24年 9 月30日まで）
売上高（千円）	4,134,578	5,666,613
営業損失（△）（千円）	△ 620,429	△ 172,530
経常損失（△）（千円）	△ 529,324	△ 82,581
四半期純損失（△）（千円）	△ 353,700	△ 56,012
資産合計（千円）	27,185,988	26,627,421
純資産合計（千円）	23,668,269	22,988,876
1株当たり四半期純利益（円）	△ 20.00	△ 3.17

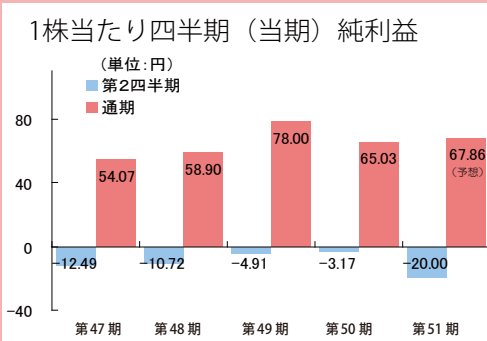
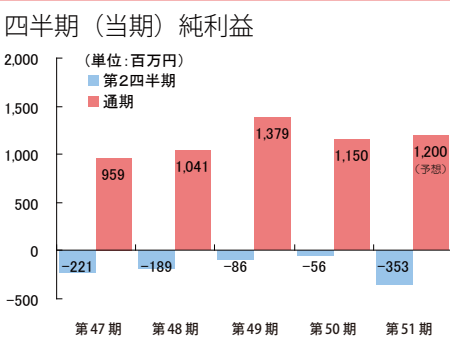
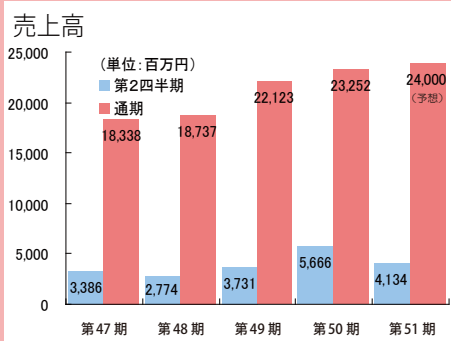
益面につきましては石油暖房機器の売上が伸び悩んだため前年同期実績を下回りました。

以上の結果、売上高は 41 億 34 百万円（前年同期比 27.0%減）、営業損失は 6 億 20 百万円（前年同期比 4 億 47 百万円増）、経常損失は 5 億 29 百万円（前年同期比 4 億 46 百万円増）、四半期純損失は 3 億 53 百万円（前年同期比 2 億 97 百万円増）となりました。

への期待は高まっていると実感しております。

通期目標の達成に向けて全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト



特集 石油ファンヒーターと加湿器 新製品の紹介と開発コンセプト

□ 石油ファンヒーター

クオリティ感あふれるたたずまい。多機能ハイエンド・モデル、DXシリーズ

当社ラインナップの最上位に位置するシリーズです。大型液晶、8段階油量モニターなどの機能はもちろん、柄の入った前面パネルの採用でインテリア性を高めました。家族が集うリビング、お客様をお迎えする応接室などに特におすすめです。

ハイパワーが魅力、しかもお求め易い、4.3kW タイプ

木造 11 畳 / コンクリート 15 畳までを暖房できるパワーを持ちながらタンクを 5 ㍓と小さく抑えることで、同じクラスの当社製品に比べボディがコンパクト、しかもお求め易い価格を実現しています。

近年、エアコンをメインの暖房機器としてお使いになる方も増えていますが、寒い朝などには両方を同時に立ち上げ、いち早くお部屋を暖める。そのような使い方にも向いています。



ダイニチが選ばれる理由

当社では毎年、様々なお客様アンケートを行い、製品改良やアフターサービス向上に活かしています。2012 年度の当社製品購入理由の上位 7 項目はグラフのとおり、「タンク容量」「価格」「デザイン」は機種によって数字が変わりますが、機種を問わずに上位に来る項目もあります。

何よりも着火の早さが喜ばれています

寒い朝や外から帰ってきた時は何をしておいても部屋を早く暖めたい。そんな気持ちに応える 40 秒[※]スピード着火です。
※ 5 kW 以上の機種は 45 秒着火となります。

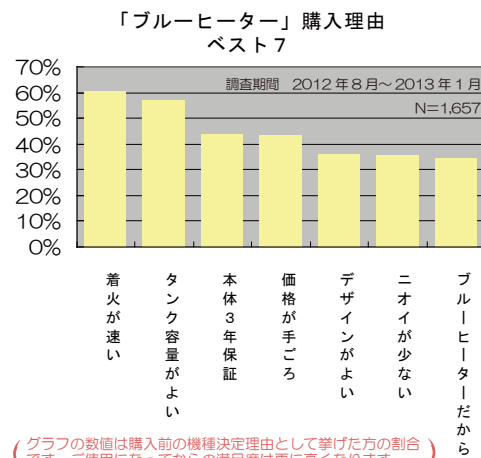
本体3年保証による信頼、そして「ブルーヒーター」だから

当社は 1998 年より本体3年保証を導入しています。また万一对応するアフターサービス体制の充実や国内生産への信頼がこの結果に繋がっています。

ニオイが少ない

当社の燃焼方式は「ブンゼン気化式」。ニオイの元となる灯油未燃ガスを瞬時に遮断できる構造で、点火から消火まで快適にお使いいただけます。

毎年デザインや機能を進化させているブルーヒーターですが、暖房機器に求められる基本的な性能や信頼こそが何よりも大切。それをお客様から毎年教えていただいています。



(グラフの数値は購入前の機種決定理由として挙げた方の割合です。ご使用になってからの満足度は更に高くなります。)

いよいよ本格的な暖房シーズン。今年のダイニチは石油ファンヒーター・加湿器ともに更に商品の魅力を向上させています。その豊富なラインナップから一部をピックアップしてご紹介させていただきます。

□ 加湿器

最も売れている機種をフルモデルチェンジ

豊富なラインナップを持つ当社加湿器ですが、今年は 300mL/h クラスの標準タイプ機種をフルモデルチェンジしました。このタイプは一つ上の 500mL/h クラス標準機種とともに当社で最も販売台数の多い 1 台です。すでに 500mL/h クラスは一足先にフルモデルチェンジされて好評を得ていることから、300mL/h クラスも期待を込めての登場となりました。

HD-3013 は従来モデルに比べて「標準」運転モードによる消費電力を約 40%低減したほか、送風経路の見直しでもともと静かな運転音をさらに低減、また遠くからでも確認できる前面湿度表示やらくらく持ち運びハンドルなど、

お客様からの声も反映させた魅力あるモデルチェンジとなっています。

またデザインも 500mL/h クラスと共通とし、売り場での展示効果を高めています。

	消費電力 (標準モード時)
2013 年度モデル (HD-3013)	98W
当社従来機 (HD-3012)	161W



■HD-3013

ダイニチが気化式またはハイブリッド式を選ぶ理由

お店に行くと様々な能力、デザイン、方式の加湿器を見ることができます。この中で加湿方式にはそれぞれに特徴がありますが、当社はヒーターレス気化式、またはハイブリッド式のどちらかとなっています。

気化式は水を含んだ加湿フィルターにファンの風を送る方式。ヒーターを使いませんから電気代を抑えることができます。一方パワーを上げるには加湿フィルターにたくさんの風を送る必要があるため、静かさの面ではハイブリッド式よりやや不利になります。

このため、長時間運転するリビングでの使用、あるいは風量をそれほど必要としない小型タイプに向いていると当社では考えています。

一方のハイブリッド式は気化式をベースに、必要な際はヒーターで暖められた温風を加湿フィルターに送って能力を高める方式です。希望の湿度に達するまでの時間を短縮できるほか、ファンをやや弱めても必要な加湿を行えるこ

とから、寝室などで使用する場合も音の静かさが歓迎されます。設定湿度に達してヒーターが必要なくなれば電気代は気化式と変わりません。

加湿器にはこの他に超音波式、スチーム式などがあります。それぞれに良さがありますので、お部屋や目的に応じてお選びいただけます。

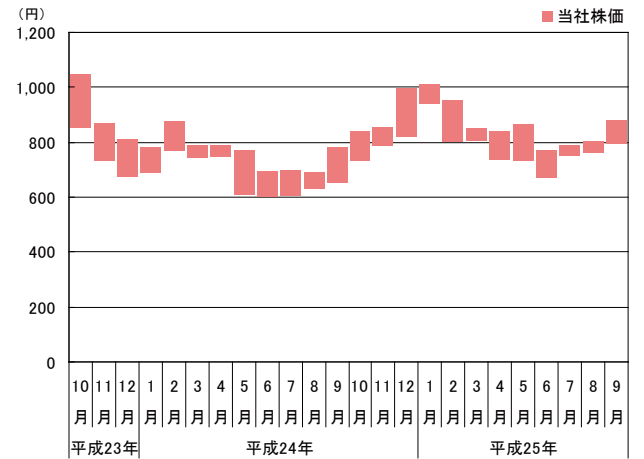
【加湿方式によるちがい】

	ヒーターレス気化式	ハイブリッド (温風気化／気化) 式
加湿方式		
特 長	・電気代が安い。 ・急速に加湿することはできない。	・温風気化式運転時は急速に加湿可能。

貸借対照表			(単位：千円/千円未満切捨)		
			当第2四半期 会計期間	前事業年度	
			平成25年 9月30日現在	平成25年 3月31日現在	
流動資産	20,361,551	22,299,491			
現金及び預金	4,270,186	10,000,112			
受取手形及び売掛金	4,086,845	5,771,443			
有価証券	512,581	197,477			
製品	9,055,448	4,394,918			
仕掛品	530,305	297,402			
原材料及び貯蔵品	1,158,482	1,158,426			
繰延税金資産	456,298	279,334			
その他の流動資産	299,601	212,175			
貸倒引当金	△8,200	△11,800			
有形固定資産	5,331,843	5,270,253			
無形固定資産	87,364	89,219			
投資その他の資産	1,405,228	1,670,958			
資産合計	27,185,988	29,329,923			
流動負債	2,285,959	3,767,806			
買掛金	1,235,669	1,097,846			
未払法人税等	25,657	650,050			
賞与引当金	305,018	251,711			
製品保証引当金	255,100	262,800			
その他	464,514	1,505,398			
固定負債	1,231,759	1,157,336			
再評価に係る繰延税金負債	118,748	118,748			
退職給付引当金	287,910	273,488			
役員退職慰労引当金	825,100	765,100			
負債合計	3,517,718	4,925,143			
株主資本	23,506,730	24,249,479			
資本金	4,058,813	4,058,813			
資本剰余金	4,526,572	4,526,572			
利益剰余金	15,910,800	16,653,549			
自己株式	△989,455	△989,455			
評価・換算差額等	161,539	155,299			
純資産合計	23,668,269	24,404,779			
負債純資産合計	27,185,988	29,329,923			

損益計算書			(単位：千円/千円未満切捨)		
			当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間	
			(平成25年4月1日 平成25年9月30日)	(平成24年4月1日 平成24年9月30日)	
売上高	4,134,578	5,666,613			
売上原価	3,014,621	4,274,022			
売上総利益	1,119,957	1,392,590			
販売費及び一般管理費	1,740,386	1,565,121			
営業損失(△)	△ 620,429	△ 172,530			
営業外収益	91,169	90,019			
営業外費用	64	70			
経常損失(△)	△ 529,324	△ 82,581			
特別利益	—	—			
特別損失	25,395	24,566			
税引前四半期純損失(△)	△ 554,719	△ 107,147			
法人税、住民税及び事業税	8,000	8,000			
法人税等還付税額	—	△ 19,040			
法人税等調整額	△ 209,019	△ 40,095			
四半期純損失(△)	△ 353,700	△ 56,012			

株価の推移



Corporate Data 会社概要

平成25年9月30日現在

社名：ダイニチ工業株式会社
英文社名：Dainichi Co.,Ltd.
本社：〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中780番地6
創立年月日：昭和39年4月1日
資本金：40億5,881万円
従業員数：493名

株式についてのご案内

お取扱窓口

お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。

特別口座管理機関お取扱店

みずほインベスターズ証券、及びみずほ信託銀行
フリーダイヤル0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）

未払配当金のお支払

みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
みずほ銀行 本店及び全国各支店
（みずほインベスターズ証券では取次のみとなります。）

ホームページのご案内

当社ホームページでは、「製品情報」や「お客様サポート・お問い合わせ」から「会社情報」までわかりやすくご案内しております。
また、株主・投資家の皆様には、当社をよりご理解いただくために、「会社情報」内の「株主・投資家情報」で決算短信や財務諸表等各種資料を掲載しております。

http://www.dainichi-net.co.jp/

ダイニチ工業

検索

